

【令和7年】

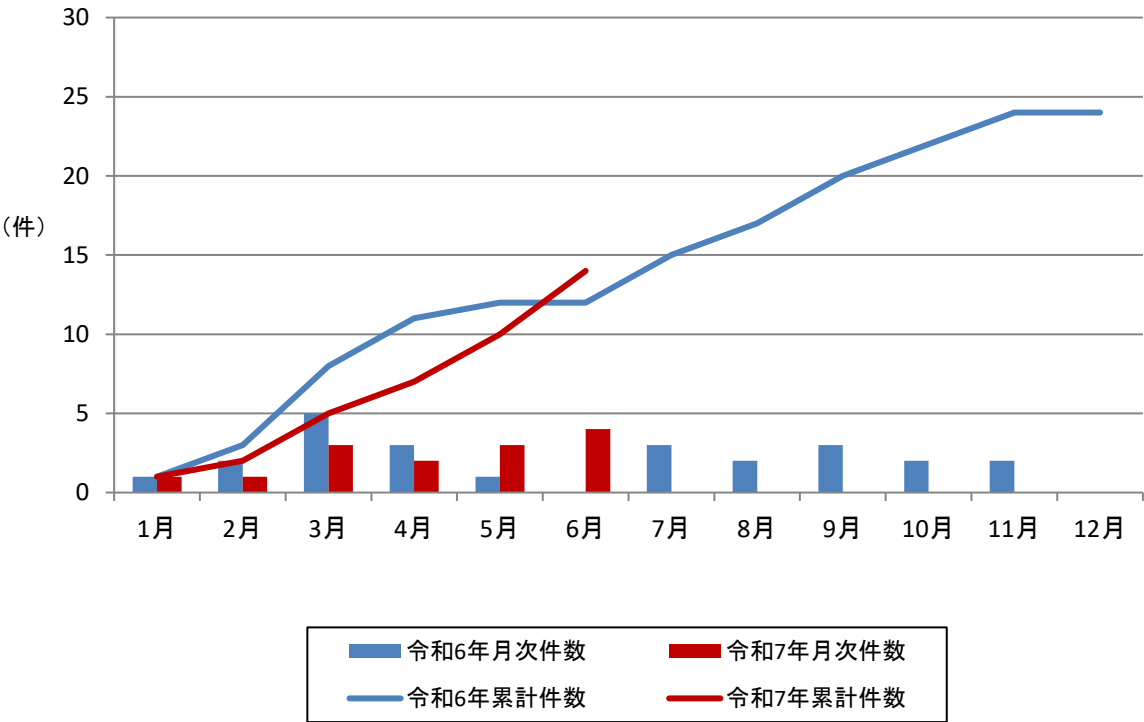
■管内における事故発生状況(6月速報値)

※ 数値は事故速報ベースであり、各月のデータ積み上げが年累計と異なる場合があります。
※ 当該年の累計は1月から当該月まで、前年の累計は1月から12月までの計を示します。

○高圧ガス保安法(高圧ガス・石油コンビナート事故対応要領)関連

事故の種別		令和7年6月分				前月件数	前年同月件数	令和7年累計				令和6年累計			
		件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
			死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
災害	爆発					0	0	0	0	0	0	2	0	1	1
	火災					0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	噴出・漏えい	4			1	2	0	13	0	0	1	20	0	0	3
	破裂・破損等					1	0	1	0	1	0	1	0	0	0
	その他					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		4	0	0	1	3	0	14	0	1	1	24	0	1	5
容器の喪失又は盗難		0				0	1	0	0	0	0	4	0	0	0
危険な状態						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
報 告 総 計		4	0	0	1	3	1	14	0	1	1	28	0	1	5

高圧ガス事故発生件数(容器の紛失又は盗難を除く)



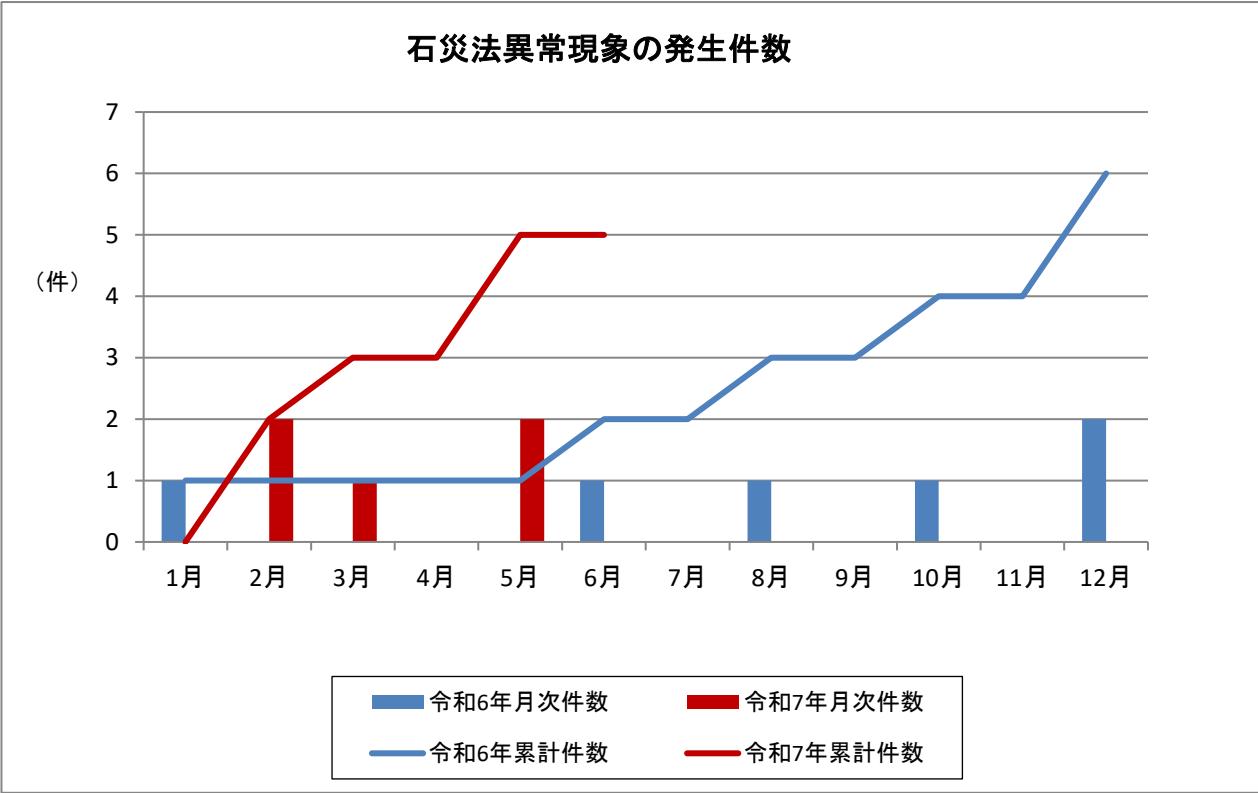
【令和7年】

■管内における事故発生状況(6月速報値)

※ 数値は事故速報ベースであり、各月のデータ積み上げが年累計と異なる場合があります。
※ 当該年の累計は1月から当該月まで、前年の累計は1月から12月までの計を示します。

○石油コンビナート等災害防止法(第23条第1項の異常現象)関連

異常現象の種別	令和7年6月分				前月件数	前年同月件数	令和7年累計				令和6年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
出火					0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
石油等の漏洩					2	1	4	0	0	0	5	0	0	0
その他					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	2	1	5	0	0	0	6	0	0	0



◆令和7年(2025年)の事故概要

○高圧ガス保安法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2025年6月27日	福島県	宿泊業	噴出	水素貯蔵所で高圧容器モジュールに水素を充填した後、リリーフ弁から水素が噴出した。原因はモジュール内の減圧弁の機能不全と推定されるが、詳細は調査中。	なし
2025年6月26日	青森県	製造業	漏えい	老朽化により稼働を停止していた冷凍設備から、冷媒であるアンモニアガスが漏えいした。原因は冷凍設備と配管でつながっていた凝縮器から漏れ出たと推定されるが、詳細は調査中。	なし
2025年6月19日	福島県	製造業	漏えい	顧客にて使用後の炭酸ガス及び酸化エチレン(20%)混合の残ガス容器を貯蔵していたところ、何らかの要因で容器安全弁の可溶栓が溶け出した為、安全弁から微量の吹き出しがあった。原因は調査中。	なし
2025年6月6日	青森県	技術サービス業	漏えい・火災	LPガス容器から残ガスを抜き取る際に、抜き取ったガスを貯槽側に送る配管のバルブを閉めたまま、容器のバルブを開けたため、ガスが貯槽側に流れずに容器のバルブからLPガスが漏えいし、漏れたガスにより、作業員1名が低温火傷を負った。また、漏えいしたLPガスに近隣の乾燥炉付近で引火し、ビニールシートが燃えた。	人的被害:軽傷1名 物的被害:ビニールシート焼損
2025年5月29日	青森県	小売事業者	漏えい	事業所の工場においてアンモニア臭がしたため調査したところ、冷凍設備の蒸発器及び圧縮機内に残っていた液体アンモニアが、気温の上昇に伴い気化して漏えいしたものと推定。工場内に漏えいしたアンモニアガスは中和して放出した。原因は調査中。	なし
2025年5月24日	宮城県	製造業	破裂・破損等	バイオマス発電施設内の発電機本体の冷却水を循環させるためのクッションタンクを加圧中に、何らかの原因により破裂し、作業従事者1名が負傷。原因は調査中。	人的被害:重傷1名 物的被害:調査中
2025年5月15日	福島県	製造業	噴出	製造施設内に設けているLPG供給ユニットの配管に設置された点検用アングル弁付近からLPGが噴出している状況を確認した。原因は調査中。	なし
2025年4月10日	福島県	製造業	漏えい	液化アンモニア貯留施設の自動バルブフランジ部分からアンモニアが漏えい。漏えい確認後すぐにフランジを増し締めし、漏えいは停止した。原因は調査中。	なし
2025年4月8日	山形県	製造業	漏えい	HIP装置操作のため自動運転プログラムにて昇温昇圧中に炉内温度288℃、圧力107MPa付近にてガス漏れ音に気付き、障壁内に入り点検したところNo.4圧縮機低圧プラグ付近よりガス漏れ(アルゴンガス)を確認し装置を停止した。原因は、メーカーに詳細調査を依頼中。	なし
2025年3月17日	福島県	製造業	漏えい	ローリー車から貯槽(CE)に液化窒素を充填していたところ、充填配管と逆止弁との溶接接合部から液化窒素が漏えいしたものの。原因は調査中。	なし
2025年3月11日	山形県	製造業	噴出	社員がガスが抜けている音を聞いたため調べたところ、二酸化炭素消火設備の液化炭酸ガス容器6本のうち、1本の容器弁から噴出している状況を確認した。原因は調査中。	なし
2025年3月3日	福島県	製造業	漏えい	ローリー車から貯槽(CE)に液化窒素を充填していたところ、貯槽の充填配管の溶接部から液化窒素が漏えいしている状況を確認した。原因は調査中。	なし
2025年2月5日	岩手県	製造業	漏えい	ガス臭に気付いた従業員が販売所に連絡し来場した所員が調べたところ、露出配管の継手部が緩んでおり、同所からLPガスが漏えいしたことが判明したものの。漏えい量は約100kgと推定。原因は、除雪業者がショベルカーで雪を寄せた場所に露出配管があり、積み上げられた雪の重みにより露出配管が変形し継手部が緩み、漏えいに至ったものと推定される。	なし

2025年1月6日	福島県	製造業	漏えい	空冷式チラー運転中にアラームが発生し運転を停止した。当該チラーの製造元が調査した結果、圧縮機から冷媒（フルオロカーボン410A）が漏えいしたことが判明した。漏えい量は10.6kg（全量） 原因は、圧縮機本体とアキュムレーター（圧力タンク）をつなぐ配管振動を抑制する配管バンドが折損したことで振動が大きくなり、圧縮機下部配管に負荷がかかり漏えいが発生したものと推定される。	なし
-----------	-----	-----	-----	---	----

◆令和7年(2025年)の事故概要

○石油コンビナート等災害防止法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2025年5月26日	宮城県	製油所	漏えい	集中合理化装置群の配管からスロップオイルが漏えいしている状況を覚知。漏えい量は275リットルが漏えいしたものの、敷地外への流出はなし。原因は調査中。	なし
2025年5月19日	宮城県	製油所	漏えい	重油直接脱硫装置群の付属配管の中仕切り提付近から重質軽油が漏えいを覚知。漏えい箇所付近のバルブを閉止し、配管内の残油、漏えい油及び汚染土壌を回収した。原因は調査中。	なし
2025年3月19日	福島県	製造業	漏えい	濃硫酸配管のフランジのガスケット部から配管内の濃硫酸約160リットルが漏えいしたものの、敷地外への流出はなし。原因は調査中。	なし
2025年2月20日	宮城県	製油所	漏えい	所員が重油直接脱硫装置の配管から軽油が漏えいしている状況を覚知し、同装置の稼働を停止した。漏えい量は55リットルで敷地外への流出はなし。 原因は、保温板金損傷部から雨水が浸入し配管が腐食し開口に至ったもの。当該箇所は高所にあったため、劣化の覚知が遅れたもの。	なし
2025年2月12日	福島県	製造業	出火	構内に駐車したトラクタのキャビン後部から出火・延焼した。原因は、キャビン後部の配線が劣化し短絡したことにより、配線の樹脂被覆に着火したもの。	人的被害:なし 物的被害:トラクタ 焼損